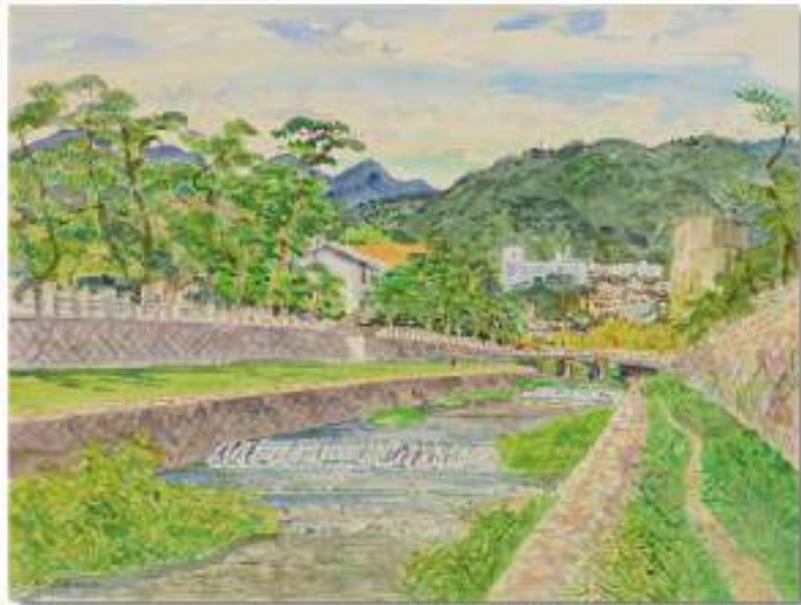




青山政吉「阪神名勝図絵（墨画）」
（A.1917年）
芦屋市立美術館蔵

—描かれた神戸・大阪—
阪神名勝図絵と
青山政吉
2019年4月13日（土）～6月30日（日）



青山政吉「阪神名勝」（平成21（2009）年） 芦屋市立美術館蔵

芦屋市立美術博物館

展 覧 会	—描かれた神戸・大阪— 阪神名勝図絵と青山政吉
会 期	2019年4月13日（土）～2019年6月30日（日）
開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日	月曜日 〔ただし、4月27日（土）～5月6日（月・祝）は開館、5月7日（火）は休館〕
観 覧 料	一般500円（400円）、大高生300円（240円）、中学生以下無料 括弧内は20名以上の団体料金。高齢者（65歳以上）および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方は各当日料金の半額。
主 催	芦屋市立美術博物館
後 援	兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人 兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK 神戸放送局、ラジオ関西
特別協力	朝日新聞社

開催要項

神戸・大阪間が現在のように発展してきた端緒となったのが、鉄道の発達でした。なかでも明治 38（1905）年に開通した阪神電鉄沿線は住宅地として急激に開発されます。『市外居住のすゝめ』によって「健康地として最良」と紹介された阪神間には、良好な住環境を求めて移住する人たちが増えていきました。その頃の阪神間の景観を描いたのが《阪神名勝図絵》であり、大正 5（1916）年に大阪朝日新聞に連載記事として掲載された後、30 点からなる彩色木版作品として出版されることとなります。描いたのは、赤松麟作を筆頭に野田九甫、水島爾保布、幡恒春という大阪朝日新聞に所属していた画家達と大阪朝日新聞記者の永井瓢齋で、実際に芦屋や宝塚、六甲山など現地に取材旅行に出かけ、何気ない地域の景観を穏やかな筆致で描いています。こんにち想像する洗練された阪神間のイメージではない、牧歌的ともいえる大正初期の地域の面影が描き込まれているのです。

一方、大正 9（1920）年、大阪で料亭を営む家に生まれた青山政吉は、京都市立絵画専門学校で日本画を学ぶかわら、黒田重太郎のもとで洋画を学びます。卒業後、小学校の美術教員となりますが、小学校校長らの尽力によって渡欧を果たし、帰国後、水彩画を描き始めます。日本画と洋画を共に修得した青山政吉にとって、水彩画は、日本画の繊細さとダイナミックな洋画の双方の特徴を発揮できる格好の技法でした。日本全国の景色を描いた青山政吉ですが、本展では、平成 27（2015）年に当館に寄託された、芦屋や西宮をはじめとする阪神間を描いた作品全 55 点を一堂に展覽いたします。

両作品では、木版画と水彩画との違いこそあれ、ともに阪神間の風景を題材にしています。それぞれに異なる風景画の魅力をご紹介します。

同時開催

「芦屋の歴史と文化財」 4 月 13 日 - 6 月 30 日 1 階歴史資料展示室

主な展示品

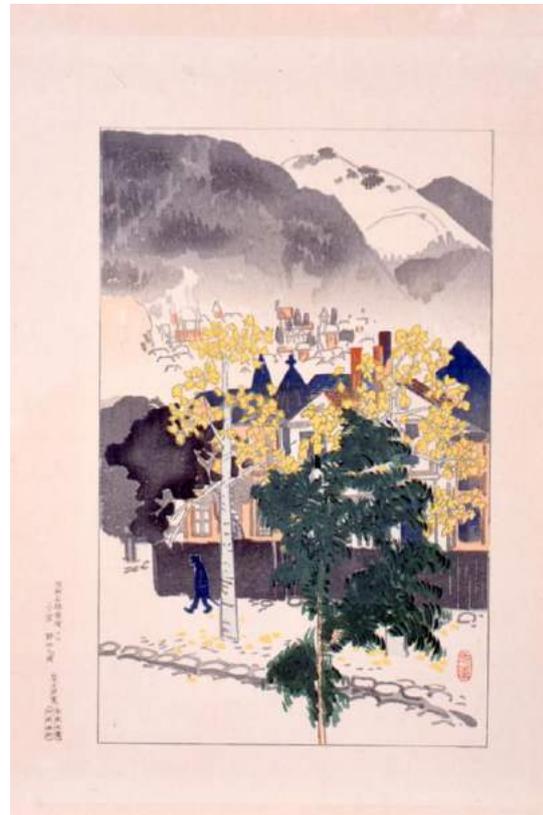
1 阪神名勝図絵

■ 版画 30 点



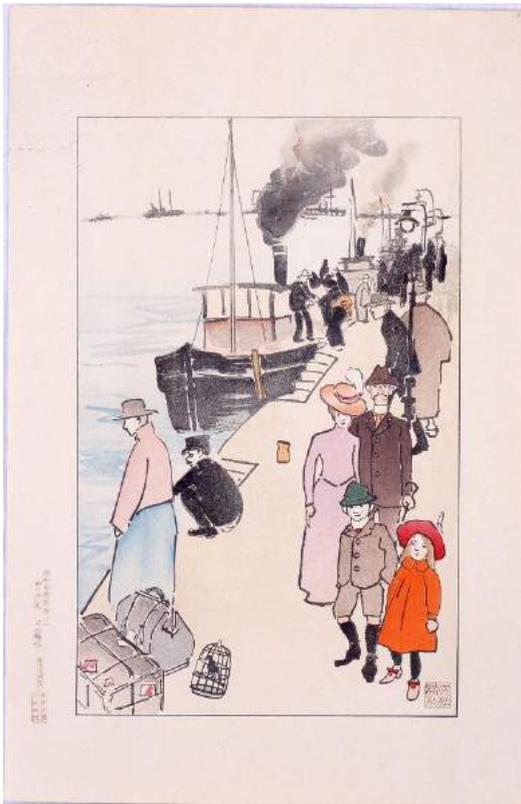
1 阪神名勝図絵 《蘆屋》野田九甫画

(大正 6 (1917) 年)



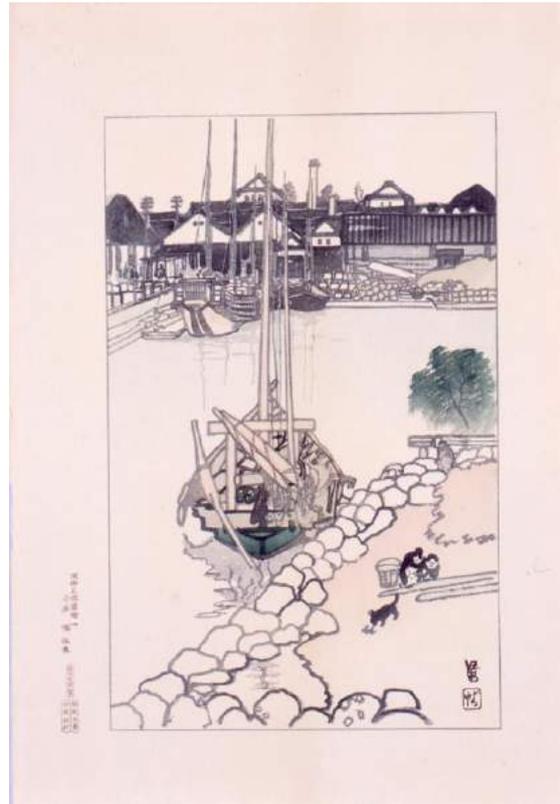
2 阪神名勝図絵 《三の宮》野田九甫画

(大正 6 (1917) 年)



3 阪神名勝図絵 《神戸波止場》赤松麟作画

(大正6(1917)年)



4 阪神名勝図絵 《今津》幡 恒春画

(大正6(1917)年)

*1~4 芦屋市立美術博物館蔵

2 関連資料

■ 朝日新聞紙面 ※阪神名所図絵連載(予定)

市街居住のすゝめ

郊外生活

3 青山政吉

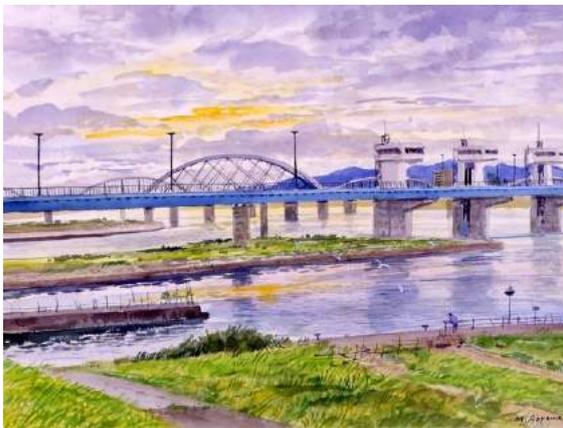
■ 水彩画 55 点 ※芦屋市立美術博物館寄託作品



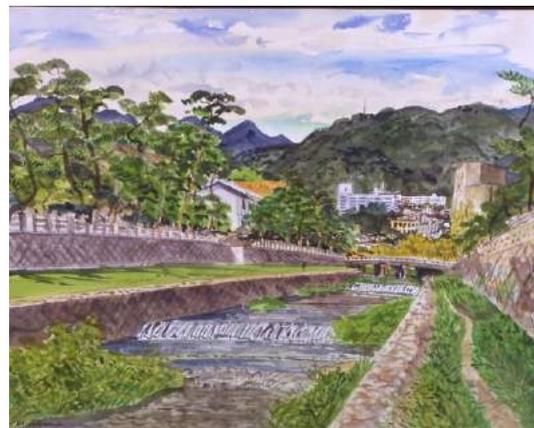
5 《芦屋川》青山政吉画
(昭和 63 (1988) 年)



6 《甲子園球場》青山政吉画
(平成 2 (1990) 年)



7 《淀川(毛間)》青山政吉画
(昭和 63 (1988) 年)



8 《芦屋川畔》青山政吉画
(平成 2 (1990) 年)

など総展示数約 100 点

以上

関連事業

1 オープニングイベント

日時：4月14日（日） 14:00～15:00

場所：芦屋市立美術博物館 講義室

講師：河内厚郎氏（評論家・文化プロデューサー）

演題：「阪神間モダニズム～その源流と伏流水」

定員：80名 聴講無料（ただし、要展覧会チケット）、事前申し込み不要

2 ホールコンサート「新緑の中で午後のひととき」

日時：5月18日（土） 14:00～15:30

場所：芦屋市立美術博物館 ホール

出演：金澤佳代子氏（ピアノ）、中野幸代（フルート）

定員：80名 聴講無料（ただし、要展覧会チケット）、事前申し込み不要

3 ワークショップ「みんなで楽しく絵を描こう」

日時：6月2日（日） 14:00～16:00

場所：芦屋市立美術博物館 体験学習室

講師：瀬島万里子氏（イラストレーター）

対象：小学生（30名まで。応募者多数の場合、抽選）

参加費：200円（ただし、保護者が展覧会を関する場合は要展覧会チケット）

*電話による申し込みが必要（住所・氏名・学年・電話番号）5月19日（日）17時〆切

4 ギャラリートーク

日時：5月26日（日）、6月9日（日） 14:00～15:00

場所：芦屋市立美術博物館 展示室

参加費：無料（ただし、要展覧会チケット）

問い合わせ先

○企画内容に関して 担当学芸員：歴史分野担当者 TEL：0797-23-2666(学芸直通)

○画像貸出等広報について TEL：0797-38-5432(代表)

芦屋市立美術博物館 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25

◇ホームページ：<http://ashiya-museum.jp/>◇フェイスブック：芦屋市立美術博物館 ◇ツイッター：@ashiyabihaku

一描かれた神戸・大阪一
阪神名勝図絵と青山政吉

2019年4月13日(土)～6月30日(日)

FAX 連絡先 0797-38-5434

ご希望の写真番号に○をつけてご返送をお願いいたします。

本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(10組20名様まで)もご用意しておりますので、お気軽にお申し付けください。

番号	作家名・作品名・制作年・所蔵元など
1	阪神名勝図絵 《蘆屋》野田九甫画(大正6(1917)年)芦屋市立美術博物館蔵
2	阪神名勝図絵 《三の宮》野田九甫画(大正6(1917)年)芦屋市立美術博物館蔵
3	阪神名勝図絵 《神戸波止場》赤松麟作画(大正6(1917)年)芦屋市立美術博物館蔵
4	阪神名勝図絵 《今津》幡 恒春画(大正6(1917)年)芦屋市立美術博物館蔵
5	《芦屋川》青山政吉画(昭和63(1988)年)芦屋市立美術博物館寄託
6	《甲子園球場》青山政吉画(平成2(1990)年)芦屋市立美術博物館寄託
7	《淀川(毛間)》青山政吉画(昭和63(1988)年)芦屋市立美術博物館寄託
8	《芦屋川畔》青山政吉画(平成2(1990)年)芦屋市立美術博物館寄託

貴社名		
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)	
ご担当者名		
ご住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
メールアドレス	@	
URL		
掲載・放送予定日		
招待券希望枚数	組	名分希望

- 写真データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。
- 本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVDなど)を当館までお送りくださいますようお願い申し上げます。
- 本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。